

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：令和5年4月～令和6年3月



発行日：令和6年5月25日



信頼と共感の和を創る
日伸テクノ株式会社

目 次

1.	組織の概要	．．． 1
2.	実施体制	．．． 2
3.	環境経営方針	．．． 3
4.	環境への負荷実績及び次年度の取組	．．． 4
5.	中期環境経営目標	．．． 5
6.	環境経営計画と取組状況評価	．．． 6
7.	環境経営計画の取組例	．．． 7
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	．．． 8
9.	代表者による全体の評価と見直しの結果	．．． 9

1. 組織の概要

事業者名 日伸テクノ株式会社

代表者名 代表取締役 土居 一成

所在地 本 社 〒870-1152 大分県大分市上宗方227番地
田原倉庫 〒870-1154 大分県大分市田原一本木845番地

設立年月日 昭和52年4月

事業内容 設備工事業 水道施設工事業

売上高 704百万円 (令和5年度)

従業員数 24名

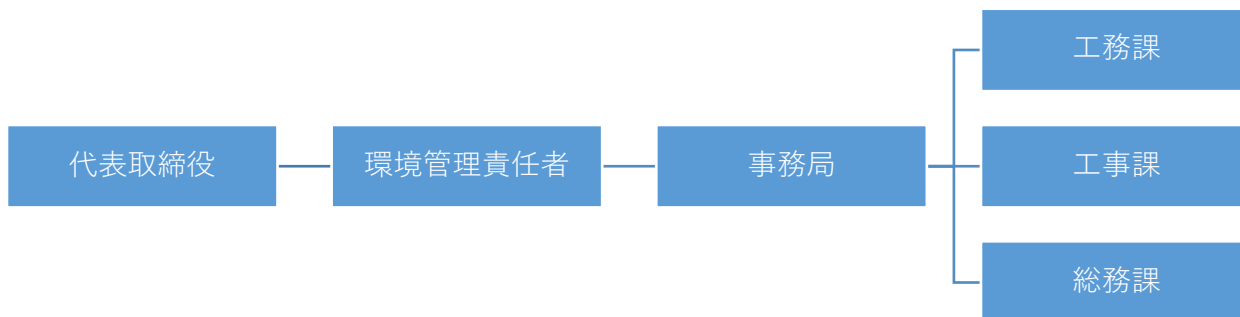
担当者連絡先 担当者 総務課
TEL 097-541-7770 FAX 097-542-3093

事業年度 8月～7月

環境年度 3月～4月

認証範囲 全対象事業所、全対象活動

2. 実施体制



代表取締役	環境経営及びEA21環境マネジメントシステムに関する統括責任者 環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する 環境経営方針を定める 環境経営目標及び環境経営計画、実施体制の承認する 代表者による全体の評価と見直しを実施する 環境経営レポートの承認
-------	---

環境管理責任者	環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 環境経営システムの運用、管理状況を代表取締役に報告する 各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認と全体調整 環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 問題点の是正及び予防処置の承認 環境経営レポートの確認
---------	--

事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境関連法規等のとりまとめ表の遵守状況チェック 環境経営活動に関する実績のとりまとめ 環境経営レポート作成
-----	---

全従業員	環境経営方針・目標・計画などの理解と自らの役割を自覚する 自主的、積極的に環境経営活動に参加する
------	---

3. 環境経営方針

日伸テクノ株式会社は、建設事業者として環境問題への自主的な取り組みと、その継続的改善が重要であると考え事業活動を通じて環境負荷の低減と、環境保全への取り組みを積極的に進めてまいります。

1. 具体的に次の事に取り組めます。

- ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進する。
- ③水資源を大切にするため節水に努める。
- ④環境に配慮した施工方法の推進
- ⑤事務所周辺の清掃活動の推進

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

4. 環境経営活動を継続的に改善していきます。

制定日：平成29年4月 1日

改訂日：令和 5年7月 1日



日伸テクノ株式会社

代表取締役 土居 一成

4. 環境への負荷実績及び次年度の取組

項目	直近3ヶ年 平均	令和5年度			
	基準年度	実績	目標	達成度	評価
基準年度			△0.5%		
CO2排出量	53,550 kg-CO2	58,400 kg-CO2	53,283 kg-CO2	91%	A
電力	17,366 kWh	17,305 kWh	17,280 kWh	100%	A
ガソリン	14,337 L	17,196 L	14,265 L	83%	B
軽油	3,855 L	3,577 L	3,836 L	100%	A
灯油	407 L	0 L	405 L	100%	A
一般廃棄物	413 kg	329 kg	411 kg	100%	A
建設産業廃棄物	17,780 kg	17,830 kg	17,691 kg	99%	A
環境に配慮した 施工体制	作業効率の向上、安全教育、定期整備・日常点検の実施等			100%	A
水使用量	130 m ³	125 m ³	130 m ³	100%	A
社会貢献への参加	きれいにしようえおいた(清掃活動)毎月1回			100%	A

電力のCO2調整後排出係数は、シン・エナジー(株) 令和3年の0.534kg-CO2/kWhを使用。

評価基準(A 90%以上・B 60%~89%・C 60%未満)

達成状況及び次年度の取組	
CO2排出量	次年度も達成出来るように社員全員が意識して取り組む。
電力	設定温度を守り、社員全員が意識して取り組む。消し忘れに注意する。
ガソリン	引続きアイドリングストップを社内で励行していきたい。車輛の点検・整備を徹底していく。
軽油	基準年度に比べ、遠方の現場が増えた為増加した。車輛の点検・整備を徹底していく。
灯油	次年度も達成出来るように社員全員が意識して取り組む。
一般廃棄物	引続き分別に意識して取り組む。
建設産業廃棄物	次年度も資材ロスの削減・分別に意識して取り組む。
環境に配慮した 施工体制	作業効率の向上、安全教育、定期整備・日常点検の実施する。
水使用量	次年度も節水に社員全員で意識して取り組む。
社会貢献への参加	引続き月1回の清掃活動に参加していく。

5. 中期環境経営目標

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	直近3ヶ年平均	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績	実績	実績	実績	目標	目標	目標
				基準年度	△0.5%	△1.0%	△1.5%
CO2排出量	55,834 kg-CO2	50,114 kg-CO2	54,703 kg-CO2	53,550 kg-CO2	53,283 kg-CO2	53,015 kg-CO2	52,747 kg-CO2
電力	16,151 kWh	17,072 kWh	18,876 kWh	17,366 kWh	17,280 kWh	17,193 kWh	17,106 kWh
ガソリン	15,218 L	13,694 L	14,099 L	14,337 L	14,265 L	14,194 L	14,122 L
軽油	3,897 L	3,251 L	4,417 L	3,855 L	3,836 L	3,816 L	3,797 L
灯油	720 L	318 L	184 L	407 L	405 L	403 L	401 L
一般廃棄物	500 kg	372 kg	367 kg	413 kg	411 kg	409 kg	407 kg
建設産業廃棄物	18,950 kg	18,930 kg	15,460 kg	17,780 kg	17,691 kg	17,602 kg	17,513 kg
環境に配慮した 施工体制	作業効率の向上、安全教育、定期整備・日常点検の実施等						
水使用量	133 m ³	125 m ³	133 m ³	130 m ³	130 m ³	129 m ³	128 m ³
社会貢献への参加	きれいにしようえおおいた（清掃活動）毎月1回						

6. 環境経営計画と取組状況評価

目標課題	具体的な行動・活動	頻度	実施状況 評価
電力消費量削減   	1. 冷暖房設定温度の厳守。	毎日	○
	2. OA機器の退社時電源OFFする	毎日	○
	3. クールビズ・ウォームビズ運動	毎日	○
	4. 不必要箇所の照明を消す（日中は総務もチェック）	毎日	○
ガソリン使用量削減   	1. 加速・減速の少ない運転をする	毎日	○
	2. 車のエアコンの使用は適切にする	毎日	○
	3. ムダなアイドリングをしない	毎日	○
	4. 定期的に車の点検・整備をする(点検表チェック)	毎週月曜	○
軽油消費量削減   	1. 加速・減速の少ない運転をする	毎日	○
	2. 車のエアコンの使用は適切にする	毎日	○
	3. ムダなアイドリングをしない	毎日	○
	4. 定期的に車の点検・整備をする(点検表チェック)	毎週月曜	○
灯油消費量削減	1. ウォームビズを推進しストーブの使用を控える	冬季	○
一般廃棄物排出量削減   	1. ゴミの分別を徹底する（当番制）	毎日	○
	2. ミスコピーの防止 （コピー機の横にA4、A3それぞれの裏紙用ボックス設置）	毎日	○
	3. 裏紙を使用する（コピー機の設定変更 例：B5トレイ→A4裏紙トレイへ、B4トレイ→A3裏紙トレイへ）	毎日	○
建設産業廃棄物 排出量削減	1. 産廃マニフェストによる適正管理	月1	○
	2. 再資源化率の向上	毎日	○
環境に配慮した施工体制   	1. 安全教育の実施	月1	○
	2. 定期的に工具の点検・整備をする	月1	○
水使用量削減   	1. 洗い物はまとめてする	毎日	○
	2. 洗い物は洗い桶を使用する	毎日	○
	3. トイレの大・小レバーを使い分ける	毎日	○
社会貢献への参加   	1. きれいにしようえおいた清掃活動の継続	月1	○
	2. エコキャップ運動 （ペットボトルキャップを収集し、団体へ送る）	年2	○

○・・・出来ている △・・・不十分 ×・・・分析する

7. 環境経営計画の取組例



日伸テクノ株式会社 SDGs宣言

当社は国連が掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

2023年7月21日
日伸テクノ株式会社
代表取締役 土居 一成

SDGsの達成に向けた取組み

信頼ある技術とコンプライアンスの徹底

建設業が誇る時代の流れを先読みし、技術者として最高の環境を作り続けます。

【具体的な取組み】

- ・ 毎月安全会議開催による労災防止の徹底
- ・ 企業における品質管理の徹底
- ・ 社会・社訓をベースにした優秀なモラルの向上
- ・ 就業規則におけるハラスメント禁止の明文化

働きがいのある職場づくり

社員と共に和を以てアットホームな職場作りを日常の方針に掲げると共に、必要不可欠な技術の習得に向け全社員が日々邁進し、共に発展する企業を目指します。

【具体的な取組み】

- ・ 大分県「健康経営事業所」認定への取組み
- ・ 健康経営推進のため、「一社一健康宣言」への参加
- ・ 会社員による資格取得支援、健康診断の受診徹底
- ・ 年齢・性別を問わない公平な採用
- ・ 地域貢献活動、持続可能な取組みの取組み
- ・ 外国人技能実習生の受け入れ

環境対策

職場に配慮した事業を実施することで、地球温暖化防止に貢献し、環境負荷の軽減に努めます。

【具体的な取組み】

- ・ エコアクション21の認定
- ・ 電気機器、資材等の買入を徹底
- ・ 積極的な省エネ対策、省資源への取組み
- ・ 廃棄物の分別徹底とリサイクルの推進
- ・ LED照明の設置

地域、社会への貢献

ボランティア活動や寄付活動を始めとする地域との協働活動により、一人一人が思いやりを持って地域社会によりよい社会の実現に貢献してまいります。

【具体的な取組み】

- ・ インターンシップの受け入れ
- ・ 基金型自動販売機による九州音楽大会への寄付
- ・ チャリティー活動による寄付
- ・ 地域産材料の優先的な利用
- ・ 地域住民への社会福祉の推進の共有
- ・ U、Iターン、地元人材の積極的な採用

SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。



私たちは、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行って参ります。

- ① 信頼のある技術とコンプライアンスの徹底
- ② 働きがいのある職場作り
- ③ 環境対策
- ④ 地域社会への貢献

それぞれに関連する「具体的な取組み」を強化し、会社として更なる成長を見据えて精進して参ります。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反・訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

令和6年5月7日

環境管理責任者

法規制等の名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none">・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結・委託契約書の保管・産廃管理票状況交付発行報告(大分市へ報告)	○
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・発生抑制(施工方法、資材選択)・再利用、再生利用、再資源化努力・再生資源利用計画書、実施書の作成(公共工事)・再生資源利用促進計画書、実施書の作成(公共工事)	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	<ul style="list-style-type: none">・排出ガス対策型であることの確認	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none">・特定建設業の実施の届出(公共工事)	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none">・特定建設業の実施の届出(公共工事)	○
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	<ul style="list-style-type: none">・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出抑制に努め国、地方公共団体の施策に協力すること。	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none">・自社のエアコンの冷媒配管からガスが漏れていないか適時点検・点検簿に記入をする。	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・廃棄時の適正処理(発生時のみ)・リサイクル料支払い(発生時のみ)	該当なし
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・社用車の適正な廃棄(発生時のみ)・リサイクル料支払い(発生時のみ)	該当なし

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

会 社 名 日伸テクノ株式会社
 見直し実施日 令和6年5月7日
 出 席 者 代表者 土居 一成
 環境管理責任者
 事務局

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1. 環境関連法規等の遵守状況確認結果	良好	良好
2. 環境経営目標の達成状況	ガソリンの消費量を除き良好	ガソリン消費量が増えているが遠方現場が多かった為、理解できる。取組状況は良好
3. 環境経営活動計画の実施状況	倉庫内の照明の消し忘れ等が散見された	照明消し忘れの報告があがっている。小さいことだが、全員で注意すべき事である。
4. 問題点の是正、予防の状況	各社員の意識の向上 全体会議を通じて啓発に努める	全体会議で事務局より発言を求めているが特になく、マンネリ化を防ぐことが重要
5. 外部からの苦情の有無及び対応結果	特になし	特になし
6. 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	参加者も多く、若手社員は学びも多かったのではないかと思う。	今回の訓練は常に必要不可欠なことです。意外にも理解できていないことも多く、非常に充実していた。
7. その他	今年も猛暑が予想される。熱中症対策に留意しながら、節電やエコを意識するという。難しい局面ではあるが、皆で協力して乗り切っていきたい。	SDGs宣言をし、1年が経過します社員が理解し取組を強化できているのか少し不安です。

見直しの必要性判断と代表者の指示

①環境経営方針	変更なし 継続する
②環境経営目標	変更なし 継続する
③環境経営計画	変更なし 継続する
⑤実施体制の見直し	変更なし 継続する(工事課・工務課の事務局は引き続き行う)
その他の指示	特になし